

研究主題

採用2年目の担任による学級経営を振り返る

1 主題設定の理由

- ・昨年、1年間の学級経営を題材にマネジメントの考えを取り入れ、PDCAサイクルでまとめておきたい、と考えた。
- ・しかし、よくよく考えてみると、しっかりとした「P」があったといえない。また、「D」の実践をまとめるだけの記録もない。すると、振り返り「C」もしようがなく、次の「A」もおぼつかないことに気づいた。
- ・しかたなく、ひとまずこれまでを振り返り、記述し、そこから見えてくるもの、あるいは自分では見えなくて周りには見えているものを教えてもらい、次につなげていくことと考え、冒頭の主題を設定した。
- ・したがって、「まとめ」以降、交流される内容を取り入れ、課題を見えやすくし、対策を考えていく、そのスタートに立つ提案としたい。

2 講師4年間の振り返り 5校を経験 学級経営、授業づくりで学んだこと

3 新採1年目の2年生担任としての学級経営

- 1 保護者会
- 2 生活ノート
- 3 林間学校
- 4 教育相談
- 5 初任研
- 6 気になる子の浮上
- 7 総括

4 採用2年目の2年生担任としての学級経営

- 1 校務分掌 安全主任 生徒会担当
- 2 学習指導
- 3 林間学校
- 4 気になる子の浮上
- 5 部活指導
- 6 総括

5 まとめ

印西市立西の原中学校

大野 正紀

令和元年8月20日

2 講師4年間の振り返り 5校を経験

1年目 井野中学校

非常勤講師として2学年配属になる。4クラス編成、副担任2人。

2年目 四街道北中学校 八街北中学校

常勤講師として配属。どちらも1年生。

四街道北中は5クラス編成で 八街北中は3クラス編成だった。

3年目 根郷中学校

非常勤講師として2学年配属。

4年目 臼井南中学校

常勤講師として1学年に配属。

学級経営を考えるうえで、講師経験とは何だったのか

○様々な自治体に行き多くの先生方と会えたこと。

・学校ごとに取り組んでいること。学校ごとに違いがあってそれぞれの良いところを見つけることができた。ここでは主に教員の取り組みについて書いてみようと思います。

例1) 四街道北中学校

○朝の挨拶運動→教員が全員校門に立ち、子供たちに挨拶をする。

★職員全体で生徒指導に対する共通認識を持つことができる。

★表情、服装の乱れから生徒の心の変化に気づくことができる。

★教員と生徒の結びつきが強くなる。

例2) 臼井南中学校

○朝の打ち合わせの簡略化(日報作り)→あらかじめエクセルで連絡事項を書き留めるファイルを作っておく。

★情報の抜け落ちが少なくなる。

★各分掌の先生がプリントを作る→配布という手間がなくなる。

3 新採1年目の2年生担任としての学級経営

1 保護者会

・先輩の先生方から、「学級通信」「保護者会」は子供と保護者をつなぐための「場」と考える大切さを教わった。そこで保護者会で、生徒に対してメッセージを書いてもらう活動を行った。狙いは、子供達には自分の保護者ではない大人の意見を聞いてもらうことである。

2学年の生徒は2学期初めに職場体験を控えていたため、保護者にはそのことに関連して2つの話題について意見をもらった。1つ目は「子供たちにどのような大人になってもらいたいのか。」2つ目が「子供たちに分の職業を選ぶときに大切にしてもらいたいこと」

学級通信に乗せた文面は別紙1を参考のこと

生活ノート

・「生活ノート」について 中学校で生活ノートの役割はとても大きい。担任と生徒の信頼関係を築く手段として活用されている。以下、次のようなエピソードがあった。

- ① 生活ノートに「死にたい」と書く生徒がいた。生徒に話を聞くと家では幼い兄弟の面倒をみて、クラスには同じ部活の友達もいない。とても寂しい思いで毎日を過ごしているとのこと。保護者に本人の悩みを伝えて副担任、顧問の先生にも話を聞いてもらう。学年職員全体で声かけをしていくとお伝えした。
- ② こんな意見を書く子もいた。クラスの中に落ちていた虫の死骸を外に捨てたところ、「虫も一つの命を持っている。」「命を冒涇している。」と書く生徒がいた。話を聞いたところ、生き物が大好きな子で、どんな小さな生き物でも一つの命を持っている。尊重をしなければならないという考えを持っていた。一人一人の生徒が異なる意見を持っていることがわかった。

生活ノートを通して子供たちの持つ悩みや喜びなど多くの発見があった。多くのメリットがある一方で実際には、このノートに返信する時間が限りなく少ない。特に1年目では一日に授業5時数+初任者研修1時数という日課が多くあった。その中で子供たち一人一人のノートに目を通すことができない日もあった。

③ 林間学校

・学校行事も生徒の成長に重要な役割を担っている。2年生だと林間学校がそれにあたる。

レク係担当になる。(レク係のメンバーは各クラス10人×5→50人)

生徒の役割はバスレク、キャンプファイヤーのレクの立案、および司会進行。

事前の準備としては全4回の係会で林間学校当日のバスレクの内容、担当者を考えるというものだった。

自分のしたこと

バスレク、キャンプファイヤーのレクを計画書に書かせて、提出期限を設けた。

難しかったこと

(1) 生徒がレクの内容を考えることができなかったこと。

(2) 各々のレクで担当者が決まらなかったこと。

・当時を振り返って

(1) →あらかじめ去年のレクの案をいくつか用意しておく等、選択肢を設けてあげれば良かった？

(2) →担当者をこちらで明確に決めてしまえば良かった？

・まとめ

レク係の進め方を周りの人に尋ねればよかったとも思う。しかし、当時は自分の思い込みで職場の先輩に相談をしようと思ってもしづらい雰囲気だった。

4 教育相談

- ・本校では夏休みに保護者面談を実施している。これも生徒や保護者との信頼関係を築くうえで重要な役割がある。

学習面、進路に関心を持つ保護者が多かった。→学級通信の内容について触れてくる保護者もいた。
(学級通信の有用性を再認識した。) 進路についての質問に答えるために(高校入試ガイド)を読み込んでおいた。答えられない質問はメモをして置き進路担当の先生に質問をした。

5 初任研

- ・初任研は必須の研修であるので担当者とかかわりとしては以下のようなことになる。

自分が学級経営でわからないことは何でも相談できた。本当にありがたい存在だった。どのような対応をすれば良いのかわからない生徒のことや、普段の業務でわからないことまで細かな指導をしてくださった。

具体的には

- ・長欠生徒の対応

→親と継続的に連絡を取ること。また生徒指導ノートを作ってその子に関することを頻繁にまよように意識すること

- ・委員会活動の徹底

生徒が自分の仕事を意識してこなすことができる。このことが学級経営の肝の部分だと指導をしていただいた。

6 気になる子の浮上

- ・気になる子の浮上 学級が進みだすと、気になる子が出てくる。長欠生徒に関して振り返る。

(1) 長欠生徒 A

前年度長欠の生徒。二人きょうだいで勉強ができる兄を持ち、かなりのコンプレックスを持っていた。本人は部活の大会で好成績を残しているため、部活にかなりの力を入れていた。年度当初の引き継ぎでは、週に一度は調子が悪くなり休んでしまう傾向があったとのこと。秋頃部活で各家庭に向けて返金された交通費を、本人が着用した事件以来学校に来なくなる。→部活の顧問の先生に怒られたくないという思いが原因だと思われる。

- ・保護者 母親 自分の子供を心配しすぎてしまう性格。過保護な部分がある。

父親 あまり教育に積極的ではない。

- ・観察 継続的に家庭と連絡を取る。本人と話す機会も作った。本人は高校に進学を希望していたので会話時には進路の情報を中心に話をした。冬に学級に来た。復帰してからは本人も志望校合格に向けて 5 教科の学習にも意欲的に取り組むようになった。

(2) 長欠生徒 B

前年度の担任からの引継ぎでは両親が別居中で母親と暮らしているとのこと。1 学期末に 3 日連続で休み 2 学期はほとんど学校に投稿できず。

- ・保護者 母親 こちらから連絡を取ると不登校の原因はわからない(本人が話さない)と言っていた。本人には学校に行ってほしいが、扱いに困っている?ような様子。

父親 不登校の原因は子供の話を聞かない母親にあると話す。学校側の対応に関してはとても協力的。生徒本人に甘えている部分があるのでは、という意見。

- ・本人に話を聞くと、「学校に来ないことが作戦なんです。」と話す。生徒 A と同様に進路の話、行事の話を本人とした。11 月になると放課後に登校できるようにはなったが、学級に入るまでには至らず。母親と本人、学級主任と自分と 4 人で面談を行ったが登校ができない理由、およびどのようにすれば再び学校に行くことができるかはわからなかった。

7 総括

担任として、学級運営の奥深さ、難しさを痛感した一年だった。控えめに見ても自分が良い学級活動ができたとは思えない。生徒指導が重なり苦しい時もあったが何とか一年を終えることができたのは生徒が頑張ってくれたからだと思う。振り返ると、この一年は生徒たちの頑張りをあまり見つけて褒めてあげることができなかったと思う。

4 採用 2 年目の 2 年生担任としての学級経営

1 校務分掌 安全主任 生徒会担当

- ・校務分掌は安全主任、および生徒会担当になった。2 年目にこの 2 つの分掌を担当させてもらったことはとても意義のある事だと思う。

(1) 安全主任

学校の施設から、生徒の登下校中まで安全に関する取り組みは数えきれないほどある。学校にある一つ一つの決まりも、突き詰めれば生徒たちの安全につながっていること。そのことを再認識した。そして自信をもって生徒たちに説明できるようになった。例えば「なぜ、廊下を走ってはいけないのか」自分が学校の安全管理に目を向ける中で意識していることを基盤に、確固たる意志をもって生徒たちに説明できるようになった。

(2) 生徒会担当

生徒会の生徒たちを中心に据えて、行事に取り組む中で生徒たちが持っている学校生活のイメージを間近で感じることができている。特に今年度では「目安箱」を設置して生徒からの質問に生徒会役員の生徒が答える取り組みを継続して行っている。その中で生徒たちがどのようなことに興味を持ち、行動するのか、不満に感じていることは何かを知ることができた。また、それに回答をする生徒会役員の生徒たちと様々な会話を交わす中で、今ある学校の環境や、決まりについて考えるきっかけにもなった。

2 学習指導

- ①「英語」において 2 年生の 1 回目のテストに顕著に表れているフタコブラクダのような結果について 80 点台の山と 10 点台の山が並立することはかなりの違和感
→毎回のテストで、振り返り表を生徒に作成してもらっている。その中で、高得点を取った生徒たちは「授業をしっかり受けていたらわかる問題が多かった」という意見を書いていた生徒が複数名いた。一方であまり点数を取れなかった子供からは「自分の学んだところから、あまり出題されなかった」と双方で矛盾をする意見があった。

4 教育相談

- ・本校では夏休みに保護者面談を実施している。これも生徒や保護者との信頼関係を築くうえで重要な役割がある。
学習面、進路に関心を持つ保護者が多かった。→学級通信の内容について触れてくる保護者もいた。
(学級通信の有用性を再認識した。) 進路についての質問に答えるために(高校入試ガイド)を読み込んでおいた。答えられない質問はメモをして置き進路担当の先生に質問をした。

5 初任研

- ・初任研は必須の研修であるので担当者とのかかわりとしては以下のようなようになる。
自分が学級経営でわからないことは何でも相談できた。本当にありがたい存在だった。どのような対応をすれば良いのかわからない生徒のことや、普段の業務でわからないことまで細かな指導をしてくださった。
具体的には
 - ・長欠生徒の対応
→親と継続的に連絡を取ること。また生徒指導ノートを作ってその子に関することを頻繁にまよように意識すること
 - ・委員会活動の徹底
生徒が自分の仕事を意識してこなすことができる。このことが学級経営の肝の部分だと指導をしていただいた。

6 気になる子の浮上

- ・気になる子の浮上 学級が進みだすと、気になる子が出てくる。長欠生徒に関して振り返る。
 - (1) 長欠生徒 A
前年度長欠の生徒。二人きょうだいで勉強ができる兄を持ち、かなりのコンプレックスを持っていた。本人は部活の大会で好成績を残しているため、部活にかなりの力を入れていた。年度当初の引き継ぎでは、週に一度は調子が悪くなり休んでしまう傾向があったとのこと。秋頃部活で各家庭に向けて返金された交通費を、本人が着用した事件以来学校に来なくなる。→部活の顧問の先生に怒られたくないという思いが原因だと思われる。
 - ・保護者 母親 自分の子供を心配しすぎてしまう性格。過保護な部分がある。
父親 あまり教育に積極的ではない。
 - ・観察 継続的に家庭と連絡を取る。本人と話をする機会も作った。本人は高校に進学を希望していたので会話時には進路の情報を中心に話をした。冬に学級に来た。復帰してからは本人も志望校合格に向けて 5 教科の学習にも意欲的に取り組むようになった。
 - (2) 長欠生徒 B
前年度の担任からの引継ぎでは両親が別居中で母親と暮らしているとのこと。1 学期末に 3 日連続で休み 2 学期はほとんど学校に投稿できず。
 - ・保護者 母親 こちらから連絡を取ると不登校の原因はわからない(本人が話さない)と言っていた。本人には学校に行ってほしいが、扱いに困っている? ような様子。

父親 不登校の原因は子供の話を聞かない母親にあると話す。学校側の対応に関してはとても協力的。生徒本人に甘えている部分があるのでは、という意見。

- ・本人に話を聞くと、「学校に来ないことが作戦なんです。」と話す。生徒 A と同様に進路の話、行事の話を本人とした。11 月になると放課後に登校できるようにはなったが、学級に入るまでには至らず。母親と本人、学級主任と自分と 4 人で面談を行ったが登校ができない理由、およびどのようにすれば再び学校に行くことができるかはわからなかった。

7 総括

担任として、学級運営の奥深さ、難しさを痛感した一年だった。控えめに見ても自分が良い学級活動をできたとは思えない。生徒指導が重なり苦しい時もあったが何とか一年を終えることができたのは生徒が頑張ってくれたからだと思う。振り返ると、この一年は生徒たちの頑張りをあまり見つけて褒めてあげることができなかったと思う。

4 採用 2 年目の 2 年生担任としての学級経営

1 校務分掌 安全主任 生徒会担当

- ・校務分掌は安全主任、および生徒会担当になった。2 年目にこの 2 つの分掌を担当させてもらったことはとても意義のある事だと思う。

(1) 安全主任

学校の施設から、生徒の登下校中まで安全に関する取り組みは数えきれないほどある。学校にある一つ一つの決まりも、突き詰めれば生徒たちの安全につながっていること。そのことを再認識した。そして自信をもって生徒たちに説明できるようになった。例えば「なぜ、廊下を走ってはいけないのか」自分が学校の安全管理に目を向ける中で意識していることを基盤に、確固たる意志をもって生徒たちに説明できるようになった。

(2) 生徒会担当

生徒会の生徒たちを中心に据えて、行事に取り組む中で生徒たちが持っている学校生活のイメージを間近で感じる事ができている。特に今年度では「目安箱」を設置して生徒からの質問に生徒会役員の生徒が答える取り組みを継続して行っている。その中で生徒たちがどのようなことに興味を持ち、行動するのか、不満に感じていることは何かを知ることができた。また、それに回答をする生徒会役員の生徒たちと様々な会話を交わす中で、今ある学校の環境や、決まりについて考えるきっかけにもなった。

2 学習指導

- 「英語」において 2 年生の 1 回目のテストに顕著に表れているフタコブラクダのような結果について 80 点台の山と 10 点台の山が並立することはかなりの違和感
→毎回のテストで、振り返り表を生徒に作成してもらっている。その中で、高得点を取った生徒たちは「授業をしっかり受けていたらわかる問題が多かった」という意見を書いていた生徒が複数名いた。一方であまり点数を取れなかった子供からは「自分の学んだところから、あまり出題されなかった」と双方で矛盾をする意見があった。

◎1年生1回目のテストは、定期テストの動機づけを行い、既習事項の確認という意味でも右に寄っていて、高い点を残している。これが2回目になると（10月）左に寄り、英語でフタコブの兆候が見られるようになる。

◎3回目になると、数学でも顕著となる。社会でも兆候が見られる。

◎4回目（3学期2月）になると、多くの教科で分布に幅が広がる様子が見られる。

これから2学期には第二回のテストが実施される。低得点の生徒への指導を考えていきたい。

○1学期の指導を通して分かった生徒たちの特徴は2つ。

1. テストに対する意識は高い。→高校受験のために成績を気にしている生徒が多い。
2. 効率の良い勉強方法は何かよく訪ねてくる。

○自分が考えている2学期からの取り組み

- ・授業で抑えるべきポイントをわかりやすくまとめておく。→プリントにして配布
- ・得点の取り方のノウハウ以外の部分の指導も継続して行う。

☆テストで得点を取れるだけでなく、今後も生徒が興味をもって、英語の学習に取り組み続けられるような意識付けができる授業を行っていきたい。

3 林間学校

- ・今年は班長係の担当となった。

去年の反省を生かして合計4回ある係会議では、あらかじめ何を生徒たちに決めさせるのかりストアップして、生徒たちが自ら会議を行えるようにした。

第1回→代表者、係目標の決定

第2回→林間学校の行程の確認

第3回→林間学校での決まり事、持ち物について

第4回→学級で班員に伝えることの確認

班長の仕事は大きく分けて2つ。

- (1) 班員への決まりごとの伝達
- (2) 林間学校の決まりの理解

○林間学校当日

- ・当日の班長の動きは主に班長会議で話し合われたことを班員に伝えること。

林間学校を振り返ると大きな生徒指導はなかったが小さなルール違反が複数あった。「おやつを食べる時間ではないのに食べてしまう。」「集合時間に遅れる。」「キャンプ村を後にするときにバンガローの清掃をしっかりとすることができなかった。」などなど

→班長も各々の場面で、その場にいたはずだが

小さなルール違反の指導の際、「そのような決まりは知らなかった」と言う生徒が複数いた。

今回のように林間学校当日だけ班長から班員に伝達させる方法は、あまり効果的ではなかったと

思われる。

4 気になる子の浮上

・生徒 C

1学期に複数の問題行動を起こす。

・授業妨害

・小学生のいじめ

・LINEトラブル

聞き取りをするがうそをついてしまう。一学年の頃にも LINE でいじめをしてしまう。指導を行っているときはしっかりと話を聞いているようなのだが、新たな間違いを重ねてしまう。夜中までゲーム、スマートフォンを使う生活が続いている。

・保護者 母親 面談にてお話をする。自分の息子にどのように接すればよいのか悩んでいるとのこと。スマートフォンを取り上げるべきだと思うのだが、父親の方針からそれができないでいるとのこと。

父親 単身赴任、基本的にはあまり教育にはかかわらないとのこと、母親の話によると放任主義らしい

・観察 現在も同じ部活の生徒に対しての継続的ないじめで指導を続けている。部活動顧問、保護者と協働して粘り強く本人に話をしていく。

5 部活指導

サッカー部を担当する。自分の学級には、サッカー部員が5名いる。日常生活と学級での生活が重なってくると、とても指導がしやすい。例えば、体育祭や林間学校などの学校行事、普段の学級の様子などについて、何気ない会話を通して自分に伝えてくれる。

○こんなことがあった

サッカー部の生徒の一人は毎日の歌声活動を推進する文化委員会の代表である。文化委員は朝の会や帰りの会の歌の際に、CDの準備、指揮者の担当。歌や歌うときの姿勢を注意したりする。

・一学期初めの歌声活動の様子

パート練習の際、話をする生徒や、壁に寄りかかってしまう生徒がいた。

→合唱はまず歌う姿勢を正すことが大事と伝える。

代表の生徒をはじめ、部活動の生徒がクラスへの声掛けをしてくれるようになった。

6 総括

・新しい学級を担当することになり一学期が過ぎた。生徒指導の案件も多いが、去年一年の経験をもとに幾分か余裕をもって生徒たちに指導や授業をできるようになった。また、先生方と話をする機会も増えて、去年は相談できなかったこと（気づくことができなかったこと）について尋ねることができるようになった。

○去年の積み重ねで役立ったこと。

・週案で去年の流れを確認することができる。

・教材を再び使える。修正ができる。

・見通しをもって生徒たちに活動をさせることができる。例) 行事の話を○月△週にするなど

5 まとめ

自分が教壇に立って以来多くの生徒、周りの先生方に助けられてここまで来ることができたと感じる。特に、悩んでいるときに相談に乗ってくれた、先生方の存在は本当に心強かった。本採用二年目の今年は、去年できなかったことに積極的に取り組むことができる年になると思う。

今回の研究をする中で記録を取ることの大切さを認識させられた。授業、行事、部活動など様々な場面で自分や生徒が何を感じて、どのような行動をしたのか。失敗や成功した経験は自分が教員として働く上で、何より頼りになることなのだ実感した。これから2年生は合唱祭や予選会を控えている。行事で生徒たちを活躍させるためにはどのような手立てが必要か、多くの先生方の意見を伺い、生徒とも話し合いをしながら模索していきたい。

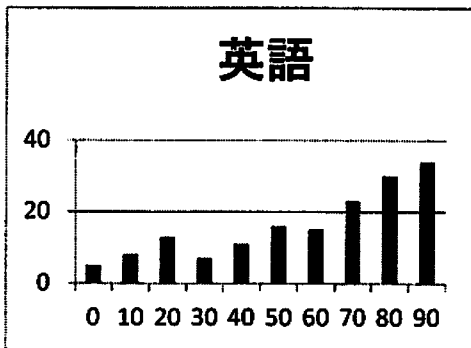
・保護者会のご参加ありがとうございました！

懇談会では子供たちへメッセージを書いていただきありがとうございました。会では3つのテーマのもとに子供たちへの言葉を書いていただきました。皆さんのメッセージを載せさせていただきます。今週号は「将来こんな大人になってほしい」というテーマの保護者の方からのメッセージです。

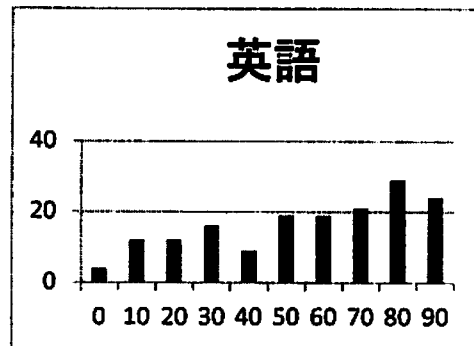
- ・他人のいいところを見つけられる、自分の意見を持っているが主張しすぎない大人。
- ・惜しみなく人に手を貸せる人になって欲しい。そのためには余裕が必要。知らないことにぶつかっても自分の引き出しの中身をアレンジして乗り越えてほしい。
- ・人生の目標、自分にとって大切なことを見失わないでほしい。目先の細かい事柄にとらわれないで。
- ・自分の意見を伝えられる大人になってほしい。人の気持ちに気付くことのできる大人になってほしい。弱音もはきだせる大人になってほしい。
- ・心も体も健康な毎日をごせる、ユーモアのある、楽しみを持っている、人から愛される、生きていくだけのお金を稼げる大人
- ・毎日楽しく笑ってられる人。家族や友達のために動ける人。
- ・自分より弱い立場の人間の味方であるような大人になって欲しいです。
- ・人の痛みがわかる大人になってほしい。自分がやりたかった職業について毎日が充実している生活をしていて欲しい。
- ・他人を思いやれる、自分より周りの人を一番に思い、すぐに手を差し出せる人になってほしい。
- ・人のために進んで働く（働ける）人。
- ・人を大切にし、人にも自分にも正直に生きて欲しい。いつもどんなに小さいことでも良いので喜びを持って毎日過ごして欲しい。幸せを感じる力を持つ。思いやり。
- ・隨機応変に答え、いろいろな人、人種の違う人とのコミュニケーションがとれる大人になってほしい

平成30年度2学年テスト結果 グラフ

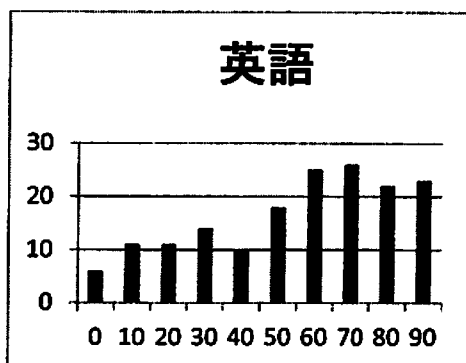
1学期



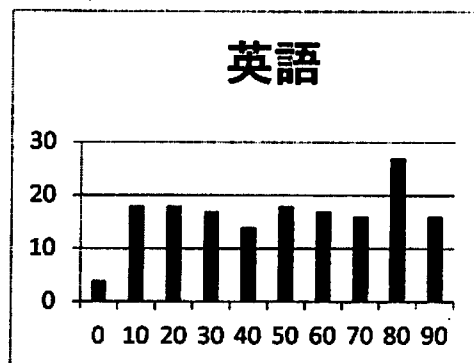
2学期①



2学期②

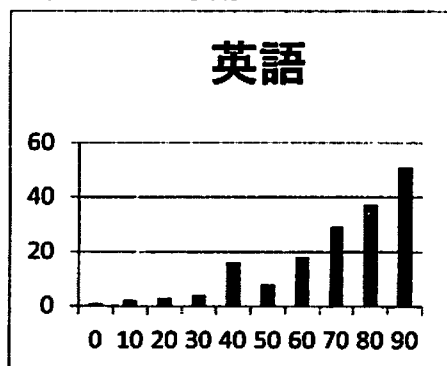


3学期

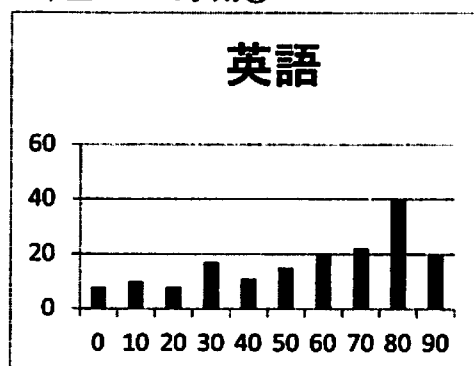


令和元年度2学年テスト結果 グラフ

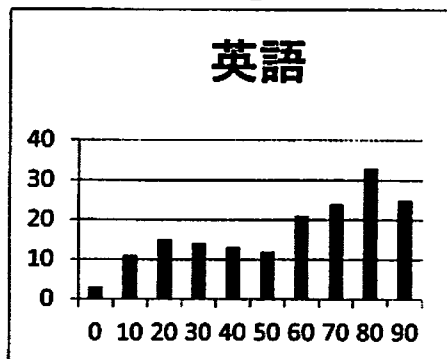
1年生 1学期



1年生 2学期①



1年生 2学期②



1年生 3学期

